



参天製薬株式会社

2009年度 第2四半期決算説明会

第2四半期累計業績概要と
通期業績予想

2009年11月11日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2009年度第2四半期 連結累計期間業績



2009年度第2四半期連結累計期間 決算概況

(単位：億円)

	2008年度 2Q累計 実績	2009年度 2Q累計 実績	対前年 同期 増減率	2009年度 2Q累計 業績予想*	対予想 達成率
売上高	522.1	591.2	13.2%	570.0	103.7%
営業利益	56.3	190.3	237.8%	140.0	136.0%
経常利益	60.1	188.7	213.8%	140.0	134.8%
四半期 純利益	37.2	116.7	213.4%	85.0	137.3%

*業績予想：2009年8月4日付公表

売上高

- 国内： 緑内障、角膜疾患において堅調に推移
 - 緑内障： 新製品タプロスの順調な市場浸透が寄与
 - 角膜疾患： 計画通りに進捗
- 海外： 技術導出一時金等が寄与し伸長
 - 中国： 参天中国の順調な直販体制移行が寄与

営業利益

- 売上原価： 品目構成の変化等に伴う原価率改善効果
- 研究開発費： 前年同期は技術導入による一時的費用が発生
- 販売費： 一部販促費用等の予算未消化による費用減少

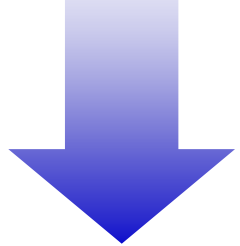


売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2008年度
第2四半期
連結累計期間**

**実績売上高
522.1億円**

+69.1億円



**2009年度
第2四半期
連結累計期間**

**実績売上高
591.2億円**

- 国内 + 10.8億円**
- + 医療用眼科薬 + 6.8億円
 - + 抗リウマチ + 0.7億円
 - + 医療機器 + 2.1億円
 - + 一般用医薬品 + 0.6億円
 - + その他 + 0.4億円

- 海外 + 58.3億円**
- + 欧州 ▲ 4.6億円
(うち為替 ▲9.6億円)
 - + 北米 +55.5億円
 - + アジア + 7.4億円
(うち中国 + 7.0億円
うち為替 ▲1.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 6.7億円
- + 角膜 + 2.0億円
- + 緑内障 +13.2億円
(うちタロメ + 19.8億円)
- + アレルギー ▲ 1.4億円
- + その他 ▲ 0.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 3.8億円
(うち西欧 + 1.4億円
(うちドイツ + 1.8億円)
うち東欧 ▲ 0.4億円
うち北欧 ▲ 2.6億円
うちロシア ▲ 2.1億円)
- + 受託製造 他 ▲ 0.8億円

<為替レート>

	2008年度 2Q実績	2009年度 2Q実績
US\$	105.75円	95.48円
Euro	163.13円	132.14円
元	14.90円	14.00円



売上高の増減要因(対業績予想比較)

**2009年度
第2四半期
連結累計期間**

予想売上高*
570.0億円

+21.2億円

**2009年度
第2四半期
連結累計期間**

実績売上高
591.2億円

- 国内:▲1.8億円**
- + 医療用眼科薬 ▲ 0.8億円
 - + 抗リウマチ + 1.1億円
 - + 一般用医薬 ▲ 1.4億円
 - + 医療用機器 ▲ 1.2億円

- 海外:+23.0億円**
- + 米国 +23.5億円
(うち為替 ▲ 0.4億円)
 - + 欧州 ▲ 1.5億円
(うち為替 + 0.7億円)
 - + アジア + 1.1億円
(うち中国 ▲ 0.7億円
うち為替 ▲ 0.5億円
うち韓国 + 1.4億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 0.2億円 (99.8%)
- + 角膜 + 3.6億円 (103.5%)
- + 緑内障 + 2.4億円 (102.8%)
うちｸﾞﾙｺｽ + 0.2億円 (101.1%)
- + アルギン ▲ 4.4億円 (77.3%)
- + その他 ▲ 2.0億円 (97.9%)

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 1.6億円
(うち西欧 + 1.0億円
(うちドイツ + 0.7億円)
うち北欧 ▲ 0.1億円
うち東欧 ▲ 1.2億円
うちロシア ▲ 1.3億円)

<為替レート>

	2009年度 予算	2009年度 2Q実績
US\$	100.00円	95.48円
Euro	130.00円	132.14円
元	14.50円	14.00円

*業績予想: 2009年8月4日付



損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

	2008年度 2Q実績	2009年度		
		2Q実績	増減	主な増減要因
売上高	522.1	591.2	69.1	(詳細は前述)
売上原価 (対売上高比率)	184.2 35.3%	177.6 30.1%	▲6.6 ▲5.2pt	品目構成の変化の影響 固定費減少の影響
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	281.5 53.9%	223.1 37.7%	▲58.4 ▲16.2pt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	163.2 31.3%	153.9 26.0%	▲9.3 ▲5.3pt	販売費の減少 ・国内(▲2億円) ・欧州(▲3億円) ・アジア(▲1億円)
研究開発費 (対売上高比率)	118.3 22.7%	69.2 11.7%	▲49.1 ▲11.0pt	・2008年度 DE-109導入費用 53億円
営業利益 (対売上高比率)	56.3 10.8%	190.3 32.2%		
営業外収益	7.8	4.4		
営業外費用	4.0	6.0		
経常利益	60.1	188.7		
特別利益	0.1	—		
特別損失	0.3	2.0		
税引前当期純利益	59.9	186.6		
法人税等	22.7	69.9		
四半期純利益	37.2	116.7		

<為替レート>

2008年度2Q実績

US\$ 105.75円

Euro 163.13円

2009年度2Q実績

US\$ 95.48円

Euro 132.14円



2009年度 通期連結業績予想

2009年度 連結予想概況

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度 期首予想	2009年度 修正予想	対前年 増減率
売上高	1,016.1	1,110.0	1,135.0	11.7%
営業利益	154.9	255.0	290.0	87.2%
経常利益	159.3	255.0	290.0	82.0%
当期純利益	101.2	160.0	180.0	77.8%
ROE	8.0%	12.3%	13.7%	5.7pt

タプロスの順調な市場浸透

原価は適正に管理

研究開発費は期初計画通り

2009年度 連結業績予想

<為替レート> 2008年度実績 2009年度修正予想
 US\$ 100.81円 100.00円
 Euro 146.71円 130.00円

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度		
		期首予想*	修正予想	対前年増減
売上高	1,016.1	1,110.0	1,135.0	118.9
売上原価	359.4	370.0	360.0	0.6
(対売上高比率)	35.4 %	33.3 %	31.7%	▲3.7pt
販売費・一般管理費	501.7	485.0	485.0	▲16.7
(対売上高比率)	49.4 %	43.7 %	42.7%	▲6.7 pt
研究開発費を除く販管費	317.2	332.0	332.0	14.8
(対売上高比率)	31.2 %	29.9 %	29.3%	▲1.9 pt
研究開発費	184.5	153.0	153.0	▲31.5
(対売上高比率)	18.2 %	13.8 %	13.5%	▲4.7 pt
営業利益	154.9	255.0	290.0	135.1
(対売上高比率)	15.2 %	23.0 %	25.6%	10.4pt
経常利益	159.3	255.0	290.0	130.7
税引前当期純利益	158.2	255.0	290.0	131.8
法人税等	57.0	95.0	110.0	53.0
当期純利益	101.2	160.0	180.0	78.8
ROE	8.0%	12.3%	13.7%	5.7 pt

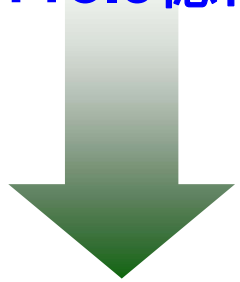
* 期首予想：2009年8月4日付



売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2008年度
実績売上高
1,016.1億円**

+118.9億円



**2009年度
修正
予想売上高
1,135.0億円**

国内 + 42.3億円

- ✦ 医療用眼科薬 +28.9億円
- ✦ 抗リウマチ + 2.3億円
- ✦ 一般用医薬品 + 3.5億円
- ✦ 医療機器 + 7.2億円

海外 + 76.6億円

- ✦ 欧州 + 1.9億円
(うち為替 ▲10.9億円)
- ✦ 北米 +54.5億円
(うち為替 ▲ 3.1億円)
- ✦ アジア +20.0億円
(うち中国 +18.2億円)
(うち為替 ▲ 0.7億円)
- (うち韓国 + 0.9億円)
(うち為替 ▲ 1.1億円)

国内医療用眼科薬

- ✦ 抗菌 ▲ 4.6億円
- ✦ 角膜 + 6.5億円
- ✦ 緑内障 +26.7億円
うち処方 37.5億円
- ✦ アルギン ▲ 5.3億円
- ✦ 粘弾性物質 + 2.0億円

欧州

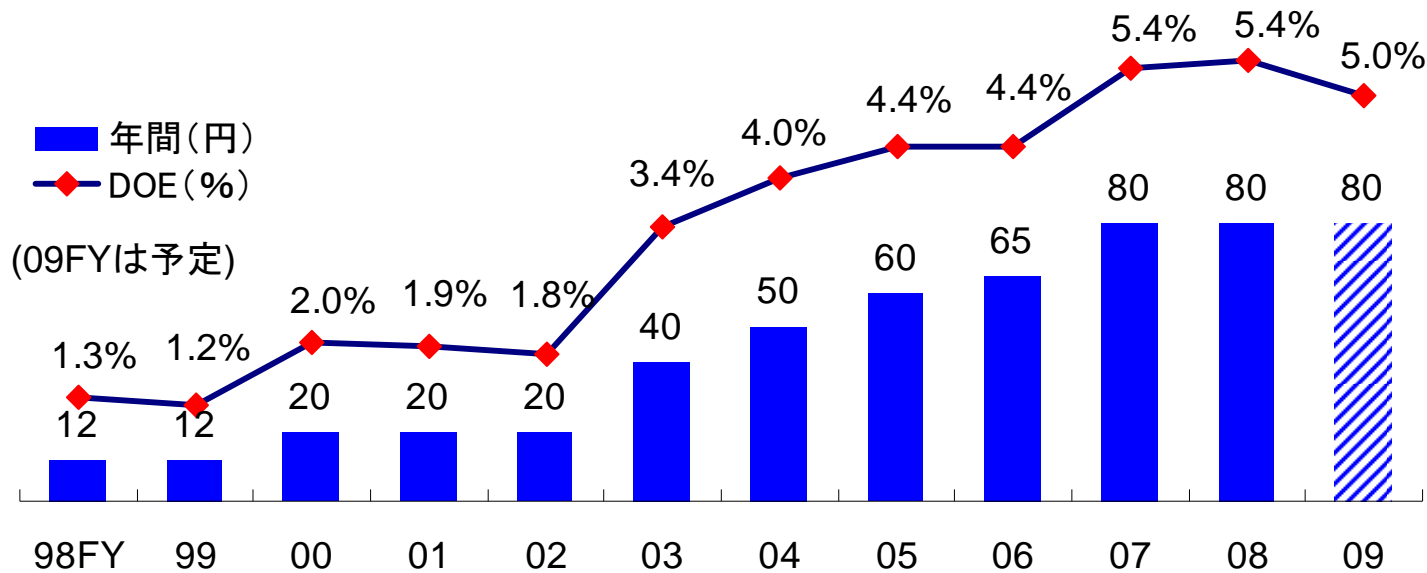
- ✦ 医療用眼科薬 + 2.9億円
(うち東欧 + 3.1億円)
(うちロシア + 1.0億円)
(うちドイツ + 0.6億円)
(うち西欧(ドイツ除く) ▲ 0.5億円)
(うち北欧 ▲ 0.8億円)
- ✦ 受託製造 他 ▲ 1.0億円

<為替レート>

	2008年度実績	2009年度修正予想
US\$	100.81円	100.00円
Euro	146.71円	130.00円
元	14.86円	14.50円

S 株主還元策

- 研究開発、設備投資、アライアンス等、将来の資金需要、財務状況等を考慮して、配当水準の維持、向上に努める
- 2010年度の目標としていた株主資本配当率(DOE)5%を2007年度に達成
- 自己株式取得・消却は機動的な手段として適宜検討する



09FYのDOEは、09FY半期末現在のデータに基づいて計算された数値です。

配当性向(%)	14.1	14.4	24.6	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	42.5
自己株取得額(億円)	0	0	51	32	32	0	26	0	0	48	0	-
総還元性向(%)	14.1	14.4	92.0	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	-



參考資料



参考資料
2009年度第2四半期
連結累計期間業績概要



販売部門別売上高および海外売上高

■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2009年度 2Q累計実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	424.8	1.9 %	72.4	5.0 %	497.3	2.3 %
眼科薬	372.9	1.9 %	71.7	4.7 %	444.7	2.3 %
抗リウマチ剤	50.3	1.5 %	0.5	173.4 %	50.9	2.2 %
その他医薬品	1.5	17.6 %	0.0	▲57.7 %	1.6	7.8 %
一般用医薬品	27.7	2.2 %	0.1	205.2 %	27.9	2.6 %
医療機器	4.3	92.0 %	—	—	4.3	92.0 %
その他	2.7	14.9 %	58.8	—	61.6	832.9 %
合計	459.8	2.4 %	131.4	79.6 %	591.2	13.2 %

■ 海外売上高

(単位：億円)

	2008年度 2Q累計実績	2009年度 2Q累計		
		実績	増減額	増減率
欧州	45.4	40.8	▲4.6	▲10.2 %
北米	4.4	59.9	55.5	1234.5 %
アジア	23.2	30.6	7.4	32.0 %
その他	0.0	0.0	0.0	—
合計	73.1	131.4	58.3	79.6 %

所在地別セグメント情報

■ 売上高

(単位：億円)

	2008年度 2Q累計実績	2009年度2Q累計	
		実績	増減額
日本	467.0	528.5	61.5
欧州	50.8	46.5	▲4.3
その他 ※	4.3	16.1	11.8
合計	522.1	591.2	69.1

■ 営業利益

	2008年度 2Q累計実績	2009年度2Q累計	
		実績	増減額
日本	68.9	194.4	125.5
欧州	1.1	3.8	2.7
その他 ※	▲1.0	1.9	2.9
消去又は全社	▲12.7	▲9.9	2.8
合計	56.3	190.3	134.0

※その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国です

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります

貸借対照表

(単位：億円)

	2009年3月末		2009年9月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,010.5	66.9 %	1,140.1	69.3 %	129.6
固定資産	499.5	33.1 %	505.0	30.7 %	5.5
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,510.1	100.0 %	1,645.2	100.0 %	135.1
流動負債	224.3	14.9 %	253.2	15.4 %	28.9
固定負債	32.0	2.1 %	38.0	2.3 %	6.0
負債合計	256.4	17.0 %	291.2	17.7 %	34.8
純資産合計	1,253.6	83.0 %	1,353.9	82.3 %	100.3
負債純資産合計	1,510.1	100.0 %	1,645.2	100.0 %	135.1

【主要変動科目】

- 流動資産：現金・預金 +122億円、受取手形・売掛金+12億円、有価証券▲8億円
- 固定資産：建物▲4億円、投資有価証券+21億円、繰延税金資産▲5億円
- 流動負債：未払法人税等+32億円、買掛金 ▲8億円
- 純資産：利益剰余金 +82億円、
 その他有価証券評価差額金 +9億円、為替換算調整勘定+6億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位：億円)

	2009年度 2Q累計実績
現金等期首残高	459.5
現金等 増減額	114.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	160.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲12.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲31.2
現金等に係る換算差額	▲1.9
現金等期末残高	573.9

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2008年度 2Q累計実績	2009年度 2Q累計	
		実績	増減額
設備投資額	10.0	3.7	▲6.3
減価償却費	16.4	15.8	▲0.6
リース料	4.8	3.3	▲1.5



参考資料
2009年度通期連結業績予想



販売部門別 売上高/海外売上高予想

■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2009年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	853.8	3.8 %	143.4	16.9 %	997.2	5.5 %
眼科薬	752.4	4.0 %	142.2	17.3 %	894.7	5.9 %
抗リウマチ剤	98.6	2.4 %	1.0	▲5.9 %	99.6	2.3 %
その他医薬品	2.7	0.1 %	0.1	▲58.3 %	2.9	▲5.6 %
一般用医薬品	55.6	6.7 %	0.2	259.5 %	55.9	7.0 %
医療機器	13.4	115.5 %	—	—	13.4	115.5 %
その他	5.5	9.9 %	62.8	767.8 %	68.4	455.0 %
合計	928.5	4.8 %	206.5	58.8 %	1,135.0	11.7 %

■ 海外売上高

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度		
		予想	増減額	増減率
欧州	83.1	85.0	1.9	2.3 %
北米	9.3	63.9	54.5	581.4 %
アジア	37.4	57.4	20.0	53.2 %
その他	0.0	0.1	0.1	—
合計	129.9	206.5	76.6	58.8 %

所在地別セグメント情報

■ 売上高

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
日本	914.0	1,003.0	89.0
欧州	94.5	94.7	0.2
その他 ※	7.6	37.2	29.6
合計	1,016.1	1,135.0	118.9

■ 営業利益

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
日本	182.8	309.5	126.7
欧州	1.7	6.6	4.9
その他 ※	▲6.6	0.3	6.9
消去又は全社	▲23.0	▲26.5	▲3.5
合計	154.9	290.0	135.1

※ その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国です

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
設備投資額	27.4	18.3	▲9.1
減価償却費	33.9	34.1	0.2
リース料	9.3	5.2	▲4.1

■設備投資 2009年度 主要項目

- 製造設備の増設・更新
- 研究開発用機器の更新



参考資料
国内医療用医薬品市場概況
(眼科薬・抗リウマチ薬)

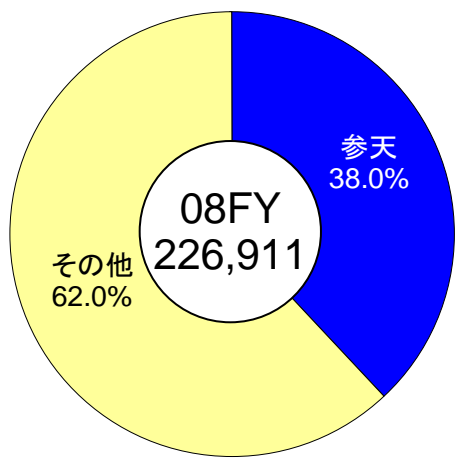


国内医療用医薬品：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

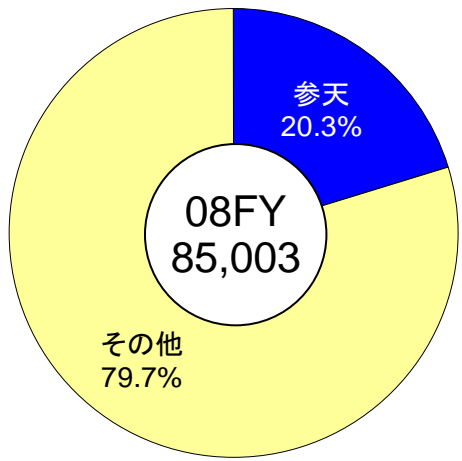
- ・眼科計：09FY2Q累計期間の市場規模は対前年+5.2%。網膜領域急成長の中、参天はシェア38.3%確保。
- ・緑内障：参天はタプロスが寄与し市場のペースを上回る伸長。シェアは22.9%で増加傾向続く。
- ・角膜：市場は対前年+4.7%と堅調。参天は市場シェアをほぼ維持し77.4%。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

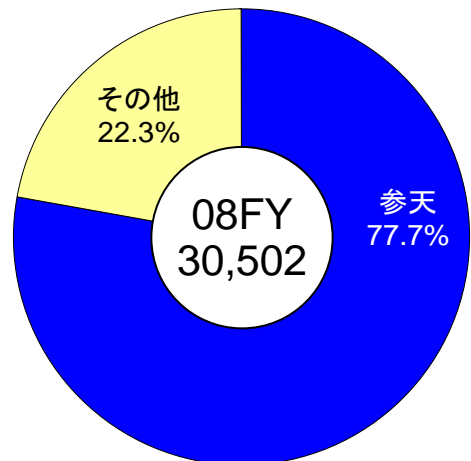
眼科薬計



抗緑内障剤



角膜疾患治療剤



		08FY	09FY2Q累計
(金額) 前年比	市場	+2.6%	+5.2%
	参天	+0.3%	+3.2%
参天シェア		38.0%	38.3%

		08FY	09FY2Q累計
市場		+2.2%	+4.1%
参天		-0.4%	+20.8%
参天シェア		20.3%	22.9%

		08FY	09FY2Q累計
市場		+5.7%	+4.7%
参天		+4.4%	+4.0%
参天シェア		77.7%	77.4%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン

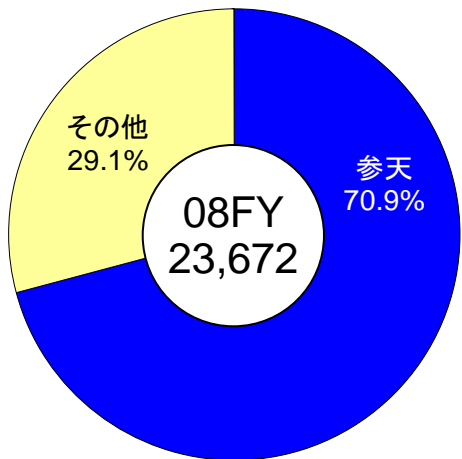


国内医療用医薬品：市場概況(抗菌・アレルギー・リウマチ)

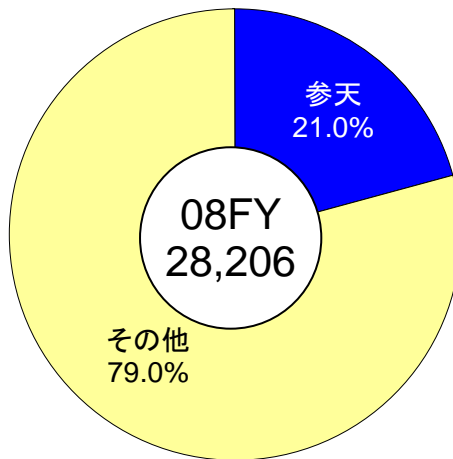
- ・抗菌：09FY2Q累計の市場規模は対前年-5.4%と減少。患者一人あたりの平均処方期間が短縮傾向。
- ・抗アレルギー：市場は対前年+0.0%、参天シェアは21.8%。競合品の伸長傾向続く。
- ・抗リウマチ：市場は対前年+4.5%。参天はシェア44.1%でNo.1のポジションを維持。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

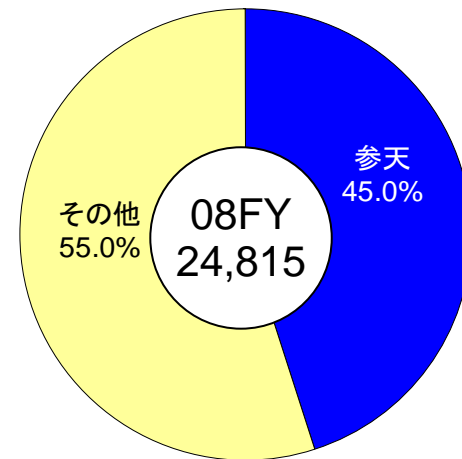
抗菌点眼剤



抗アレルギー剤



抗リウマチ剤(DMARDs*)



08FY 09FY2Q累計

(金額) 前年比	市場	-3.1%	-5.4%
	参天	-5.0%	-6.7%
参天シェア		70.9%	70.1%

08FY 09FY2Q累計

市場	+11.0%	+0.0%
参天	+2.3%	-8.6%
参天シェア	21.0%	21.8%

08FY 09FY2Q累計

市場	+2.8%	+4.5%
参天	+0.4%	+1.4%
参天シェア	45.0%	44.1%

-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール
- ・抗リウマチ剤: リマチル、アザルフィジンEN、メトレート

*DMARDs: 「疾患修飾性抗リウマチ薬」免疫機能を是正する

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2007-09を基に参天分析
無断転載禁止



2009年度 第2四半期

新製品開発の現状

2009年11月11日

**取締役 常務執行役員
研究開発本部長**

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 09FY1Q発表時からの変更点)

グローバル戦略品

グローバル品

日本 (アジア) 品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障		DE-104 ROCK阻害薬	中国	DE-085 タフルプロスト	日本 欧州 (上市)
		DE-090 塩酸ロメリジン			韓国 (承認)
角膜疾患		DE-101 リボグリタゾン		DE-089 ジクアホソル ナトリウム	
		DE-105 ペプチド組合せ剤			
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 アレルギー リウマチ			DE-108 レボフロキサシン		
		DE-098 抗APO-1 抗体			

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085、日本：タプロス、欧州：TAFLOTAN（緑内障・高眼圧症）

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	上市 (2008年12月～)	上市 (2008年12月～)	製造販売承認 (2008年10月)
欧州	上市* (2008年6月～)	上市 (2008年6月～)	承認時期 (2008年4月～)
アジア	韓国：承認 中国：P3実施中	韓国：承認 中国：P3実施中	韓国：申請時期 (2007年11月)

*ドイツ、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ポーランドの6カ国、およびMerck社からイギリス、スペインの2カ国、計8カ国にて上市済(下線国追加)。
CIS諸国含め、承認取得済 21カ国(上市国含む)。

米国	Merck社に開発販売権をライセンスアウト(2009年4月)
----	--------------------------------

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 (ドライアイに伴う角結膜上皮障害)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	製造販売承認 申請中	製造販売承認 申請中	一般名: ジクアホソルナトリウム 申請時期: 2008年5月



主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	P2	P2	一般名:塩酸ロメリジン

■DE-104

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
米国	P1/P2	P1/P2	ROCK阻害剤
日本	P2	P2	



主要臨床プロジェクトの現状 —角結膜疾患(ドライアイを含む)—

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
米国	P2b準備中	P2b準備中	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b準備中	

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2準備中	

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	一般名:シロリムス

* MacuSight社より導入。日本を含むアジアでの眼科領域の開発・販売権を保有。

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	P3	P3	高濃度レボフロキサシン

■DE-098* 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/4発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	抗APO-1抗体
欧州	P1/P2	P1/P2	

* Argenes社に導出。国内販売権、海外開発販売権は当社が保有。



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。